入船だより

横浜市立入船小学校
校　長　松本　久美子
学校だより　11月号
令和8年10月30日発行

「ここに根づき、ここを愛し、ここを創る　入船の子」

校長　松本　久美子

例年に比べると雨が多く、涼しい日と蒸し暑い日がかわるがわるやってきた１０月でした。「傘を持っていこうか？長袖の服にしようか？」と悩む日も多かったです。

１０月の土日は地域の運動会やフェスティバルなどの行事がたくさんあり、私もできるだけうかがって一緒に楽しんだり声援を送ったりしてきました。中でも本校の校庭で行われた**潮田東部地区の運動会**と**おきつるの運動会**には目を見張るものがありました。

潮田東部地区の運動会は、住んでいる地区５町会に分かれ、様々な競技で競い合っていました。また、おきつる運動会は、沖縄や南米にルーツのある方々が、出身地域に分かれて競い合っていました。どちらの運動会も年齢別の競技に代表者が出てきて足の速さや持久力、体の俊敏さを存分に生かして戦い、所属するチームの得点に貢献していました。

驚いたのはチームごとの団結力です。同じユニフォームを着たり、Ｔシャツの色をお揃いにしたりして、大人も子どもも仲間意識を高め、自分のチームの人が出ている競技では大きな声で応援をしていました。１位になったり競技で勝ったりしたときには大変な喜びようで、学校の運動会と同じかそれ以上に盛り上がっていました。入船小の子どももそこに交じってチームに貢献している姿を見かけました。

どちらの運動会も自分の住むまちや自分のルーツ（遠い祖先からのつながり）に関係する地域に所属していることを大切に感じ、そこの仲間とつながることの喜びを感じていることがひしひしと伝わってきました。まさに入船小の学校教育目標である
「ここに根づき、ここを愛し、ここを創る　入船の子」が体現されていると思いながら観戦していました。

入船小学校は令和１０年度（再来年）に創立１００周年を迎えます。１００年続く歴史と伝統を大切にする入船の子をまちのみなさんとともに力を合わせて育てていきたいと思いを新たにしました。





